

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県都筑警察署協議会
日 時	令和5年11月27日（月）午後2時から午後3時55分までの間
場 所	神奈川県都筑警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 渡辺 幸雄、畑澤 健一、佐藤 輝久男、角田 明美、相澤 孝信、 長谷川 保、木伏 慎治 計7人</p> <p>2 警察署側 警察署長 山本 隆生 地域担当次長 佐久間 大輔 刑事担当次長 薦田 淳二 警務課長 中村 公一 会計課長 田中 真樹 留置管理課長 大島 大勝 生活安全課長 蒔田 克 地域第一課長 永井 史子 刑事課長 大田 昭雄 交通課長 佐藤 信孝 警備課長 佐藤 慎一郎 計11人</p>
議事要旨	<p>警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>前回諮問「自転車盗の被害防止対策」について</p> <p>1 「自転車利用者や購入者に対して、各種キャンペーンや機会を通じて効果的な防犯指導を実施するとともに、自転車販売店や大型商業施設等に対して盗難防止を目的とした注意喚起を行い、自転車盗の発生抑止に努められたい。」との答申を受けて、次のとおり説明した。</p> <p>(1) 大型商業施設等において、当署で独自に作成した「STOP！自転車盗難」と題するビラを配布し、自転車盗の被害に遭わぬよう注意喚起を行った。</p> <p>(2) 自転車販売店などに当署が作成した「自転車購入者の皆様へ」と題するチラシを持参し、自転車購入者に対する配布依頼を行った。</p> <p>2 「現在推進している各種対策を継続するとともに、過去の自転車盗の発生場所の分析を行い、発生多発場所において、被疑者の検挙を目的とした各種対策を推進されたい。」との答申を受けて、次のとおり説明した。</p> <p>(1) 自転車盗の被害者に関する分析を行った結果、学生に対する防犯活動が有効との結論を得た。これを踏まえて、学生向けの防犯チラシを配布したところ、被害者の減少につながった。</p>

(2) 「仕掛学」の理論を活用した自転車盗被害防止対策を実施し、現在その効果を検証中である。

諮問

「効果的な防犯対策等の情報発信対策活動について」

答申

- 1 従来から行われている活動は継続して実施するとともに、各種団体や関係機関等に協力を依頼し、そのネットワークを通じて発信したい情報について効果的に地域に浸透させるように努められたい。
- 2 インターネットやSNS等を活用し、幅広い年齢層をターゲットとして、真に効果的な防犯対策の情報について発信していけるように努められたい。

業務説明

前四半期（令和5年7月から9月）までの業務推進結果及び今四半期（令和5年10月から12月まで）の業務推進重点について、当署幹部から説明を行った。